

## 森林環境譲与税に関する決算状況一覧

事業区分	事業名	(vi) 事業総額 (千円)			当年度基金への積立額 (千円)	事業内容	実績	税導入の効果
		(A)+(B)	(A) うち令和元年度の森林環境譲与税 (千円)	(B) うち他の財源 (千円)				
② 意向調査	森林経営管理事業	3	3	0		森林経営管理法に基づく森林所有者への意向調査を実施。	意向調査実施面積：33.63ha	【ワンフレーズ】 税活用により、 ・森林所有者31名に意向調査を行った結果、29名から回答があり、そのうち12名の方が自己管理もしくは森林組合等に委託したいと回答されており、森林整備意欲のある森林所有者の把握につながった。
⑦ その他 (森林整備)	町有林管理業務	447	446	1		町有林と私有林における境界の明確化のために境界の刈り払いを実施。	境界刈り払い：延長5,220m 刈幅1.8m	【詳細】 愛別町は、総面積の約80%が森林であり、多くは森林整備計画において水源涵養林（水源涵養機能維持増進森林）として位置づけられており、木材生産機能と公益的機能の調和のとれた施業の推進が必要な地域である。 そのため、意向調査対象候補森林762.07haにおいて、本税を活用し長期間にわたって施業が実施されていない森林の解消に取り組むこととしている。本年度は31名の方に意向調査を実施し、森林所有者の意向把握に努めた結果、5名の方が自己管理、7名の方が森林組合等に委託したいと回答しており、森林整備意欲のある森林所有者の把握につながった。一方、森林を手放したいと回答した森林所有者も3名存在するため、意向調査の結果を精査し、税の有効な活用方法を協議して進めていく。
⑥ 林道・林専道の整備等	林道維持管理業務	472	471	1		既設林道の維持管理のため、草刈り及び倒木処理を実施。	草刈・倒木処理：7路線 延長15,188m 刈幅2.4m	また、既存林道7路線の適切な管理及び町有林と私有林の境界刈りを適宜行い、今後の森林整備の促進へつなげる。 さらに、本年度は上川管内広域で「緑の循環会議（SGEC）」を取得したことにより、町内事業体においてもCOC認証を取得する動きもあり、今後の林産業の活性化が期待される。
⑯ その他 (木材・普及啓発関係)	上川森林認証協議会負担金	73	72	1		上川管内の4市16町2村で連携して森林認証（SGEC、COC）を取得し、持続的な森林整備及び木材の利用促進を推進するために設立した「上川森林認証協議会」への負担金を拠出し、協議会が主体となって、森林認証取得や取得に係る勉強会などの取組を実施。	町内のSGEC森林認証取得面積：462.8ha 研修・普及啓発イベント等：7回・292人	残額は、意向調査結果による間伐等の森林整備費として基金積立とした。
⑰ 基金積立 (森林整備等)	森林環境譲与税積立金	2,466	2,466	0	2,466	森林所有者への意向調査結果による間伐等の森林整備に向け基金積立。		